



人権まんが 解説

「LGBT」とは、L(レズビアン)G(ゲイ)B(バイセクシャル)T(トランスジェンダー)の頭文字をとった言葉で、性的少数者と呼ばれる人たちを表す総称の一つです。

人の性は、「男」と「女」の2つに分けてしまえるものではなく、人それぞれ少しずつ異なり、虹のグラデーションのようになっていきます。「からだの性」のほかに「心の中の性」「好きになる相手の性」「表現する性」などの組み合わせによって、人の性は形作られていると考えられています。

そのため、従来の男と女に2分化して作られた法律や社会の枠組の中では、性的少数者の人たちは修学、結婚、就職など、日々の生活のさまざまな場面で制約を受けています。

民間の研究機関によると、日本の人口比率の8.9%がLGBTであるという結果が出ています。これは、約11人に1人が該当することになり、とても身近な問題でもあるのです。

私たちは、一人一人の多様な性の在り方を理解することで、人としての権利を尊重し、支援していける社会を目指していきましょう。

※今回の題名は、金子みすゞさんの詩『私と小鳥と鈴と』の一節を引用しています。